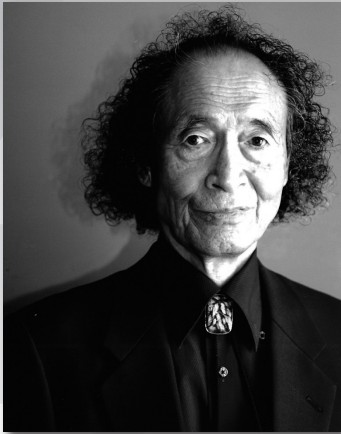


## 出演者プロフィール



### ■原子 修(はらこ・おさむ)氏

(詩人、劇作家、札幌大学名誉教授、縄文芸術家集団JAM代表)

先祖が津軽・五所川原の原子遺跡にまつわる縄文の系譜を引いているようで、創作する詩や詩劇は一貫して縄文がテーマとなっている。最近では詩劇「ママチ川」「縄文」「縄文の夜明け」「縄文の花」を公演。現在までに詩劇52作品116ステージを国内外で公演。日本詩人クラブ賞、現代ポイエーシス賞(いずれも全国賞)の他、北海道文化賞、札幌芸術省などを受賞。



### ■茂呂 剛伸(もろ・ごうしん)氏

(ジャンベ・縄文太鼓演奏家)

幼少より和太鼓奏者として世界各都市で演奏活動を行う。西アフリカのガーナに1年間わたり、演奏と太鼓制作を学ぶ。原子修氏との出会いから、縄文土器の複製にエゾシカの革を張った「縄文太鼓」を創作し演奏している。他ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多数。2012年にはアルバム「Ich weiss nicht!!」をリリース。



### ■マレウレウ(MAREWREW)

アイヌの伝統歌「ウポポ」の再生と伝承をテーマに活動する女性ヴォーカルグループ。さまざまなリズムパターンで構成される、天然トランスな感覚が特徴の輪唱などが特徴。NHK番組「にほんごであそぼ」への出演やヨーロッパ公演などをきっかけに、国内外でその活動が注目されている。2012年にはアルバム「もっというて、ひっそりね。」をリリース。



### ■曾山 良一(そやま・りょういち)氏

(ギタリスト、作曲家)

箏、尺八、ギターで北海道音楽をめざすグループ「遠TONE音」のギタリストとして国内はもとより香港、ロシア、スイスでも公演。現在までに9枚のアルバムを発表し、最新作「遠TONE音」はアメリカ全土でも発売。ソロ活動も行うほか曾山ギターレッスンルームを主宰、経専音楽放送芸術専門学校などで講師を務める。



### ■向江 きえ(むかえ・きえ)氏

(ギタリスト、シンガーソングライター)

2012年にオリジナル曲でCDデビュー。バンドやソロ活動のほか、アーティストバックアップギタリストとしてステージやレコーディングで活動中。視聴覚障がい者のミュージックネットワーク「ノイズファクトリー」のメンバー、スタッフとしても音楽指導やコンサートを行っている。エルム楽器ギター講師。

北海道  
縄文世界遺産  
推進室主催  
イベントの  
ご紹介

## 北の縄文フォーラム2014(予定)

と き 平成26年2月上旬

ところ 札幌市内のホテル

内 容 縄文文化および世界遺産関連の有識者による講演等

お問い合わせ 北海道縄文世界遺産推進室 電話:011-231-4111(内線)24143

お問い合わせ

■北の縄文道民会議事務局:札幌市中央区大通東1丁目3 中央バス札幌ターミナル2F 株式会社シービーツアーズ 内

電話:011-221-1122 <http://www.jomon-do.org/>